



原稿執筆者

まちかど特派員  
瀬古 彰司(甲賀町)

今回は昨年、神地区で開催された「～忍の里 甲賀～ 里山かむら 交流秋まつり」取材しました。



▲ 忍玉太鼓団の演奏で開幕

内容は絵画、書道、手芸等作品の展示や大原祇園の古今の写真展、また昔使った脱穀機や俵編み、唐鋤の他、特に昔のわらで作られた蓑(雨具)が展示され、これらを若い人が説明に聞き入る姿がありました。

健康推進員による健康チェックでは体脂肪、血管年齢や血圧測定も行われ自信を持った人、血圧が高めで「塩分控えなあかんがなあ」と注意された人など様々でした。

環境の展示では有機肥料の製造過程を紹介されるビデオが上映される等、お茶席コーナーでは抹茶を頂き、日本古来の文化に緊張の場面もあり、外では地元コシヒカリの食味会で美味しさ比への投票や餅つき、わら細工では昔懐かしい草履づくりにお正月を控え、しめ縄づくりの講習に先生の指導よろしく挑戦されておられました。さぞかしお正月には各家庭で神棚や玄関に真心こもったしめ縄が飾られたことでしょう。

▼ 絵手紙に熱中する子どもたち



ドンドンドンドコドンドン 澄みきった秋の大きに総勢34人の元気な忍玉太鼓の演奏により開幕されました。

どの自治区においてもそれぞれ趣向をこらし「まちづくりや郷づくり」のイベントが開催されていますが、昨年の3月に完成した甲賀市里山かむら交流館の見学も兼ねてこの交流秋まつりに参加させていただきました。

まだ桜の木の香りが残る広々とした立派な建物と機能的な配置、広い駐車場に区民約150人が集まる中、それぞれの「食と農」「環境」「伝統」をテーマにしたアイデアを持ち寄りすべて手作りのイベントが始まりました。



▲ 子どもたちに人気があった竹トンボ



▲ 少し難しそうです

また、老人クラブのご指導で子どもたちが昔の遊び体験で竹馬や竹とんぼ作りにより和やかな交流風景もみられました。

区長さんは「新しいこの里山かむら交流会館で区民の手による秋まつりが開催されたことを嬉しく思います。この建物を活用してかむら地区ならではの創意と工夫をしてこのようなイベントを行い、市内外に更に都会の人や外国の人々と大いに交流を深めていきたい」と抱負を語っておられました。

全員に甘酒や焼きそば、かむらみそ汁が振る舞われ、子どもと高齢者や内外の人々との交流が更に深められ、会場は昔懐かしいパッカ(ポン菓子)の音が轟き、かむらの里は一日中大賑わいでした。

新しくできた里山かむら交流館、これからも多くの人で賑わうことでしょう。



▲ どなたも少し緊張した様子でした



▲ やっぱり甲賀はもちで決まり!